

提案活動付き職場体験プログラム

提案活動付き職場体験プログラムの詳細

3～5日間の就業体験（インターンシップ）を中心に、職業観や就業観の養成、ビジネス能力・スキルの醸成を図るための授業を実施しました。今回のキャリア教育事業では、これまで十分にできていなかった学校と地域企業・産業界の連携強化を図るために、職場体験後においても学校・生徒と受け入れ企業とのコミュニケーションの場（発表会）を設けたり、学校独自で地域の方々を構成員とした運営委員会を開催するなど持続的な関係性構築にも取り組んでいます。

授業の流れ

1. 教材やワークシートを使った学習

「働く」こと、「職業」のこと、「仕事」のことなどについてクラスみんなで議論しながら考えていきます。



2. 工場見学や外部講師による学習

学校の身近にある工場を訪問したり、経営者の方から話を聞いて、「企業」のことを学びます。



3. インターネットなどを利用して企業を調査

自分たちの身近にどんな企業があるのか、どのような仕事をしているのかなどを書籍やIT等を活用して調べます。そして、自分が実際にインターンシップ（就業体験）に行きたい職種や会社を決めていきます。



4. ビジネスマナーの習得

客室乗務員経験者など専門家を講師に招き、ビジネスマナーを習得します。インターンシップの時に必要なマナーとして、言葉遣いや敬語の使い方、お辞儀の仕方、接客・接遇マナーなどを教えていただきます。



5. インターンシップの事前準備

企業の方と連絡をとりながらインターンシップのスケジュールを確認します。また、インターンシップに行く際の「心構え」や「目的」もきちんと整理しておきます。

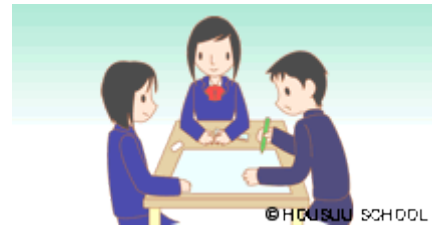
6. 3～5日間のインターンシップを実施

それぞれの企業に分かれて3～5日間のインターンシップを実施。生徒たちは受入企業のスケジュールや事情にあわせて様々な仕事を体験します。(約300社の企業様にご協力をいただいています)



7. 企業に対する企画提案書や企業案内資料等の作成

インターンシップ受入企業に対する企画提案書や企業案内資料等を作成します。中学生レベルでの企業に対する提案書や自分たちが考案した企業パンフレットなどをパソコン(パワーポイント)や壁新聞、冊子などを活用して作成します。



8. プレゼンテーション(発表会)の実施

お世話になった企業担当者や保護者などを招いて、一連の活動の報告会(プレゼンテーション)を行い、これまでに学んだことを企業や関係者にフィードバックします。

